

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201380
事業所名	グループホームチアフル花明かり・友明かり

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 代表は地元在住であり、古くから地域との交流もありホームの夏祭りには地域の人も参加し、夜店や盆踊りを楽しんでいる。古くからの住民が多く、そのため自治会が機能し、地域の文化祭には入居者の作品も出品している。入居者は児童館のクリスマス会にも参加し地域の児童とふれあっている。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 市の職員、地域包括支援センター職員、地域代表、老人会会長、入居者、家族、職員、民生委員が参加し概ね2カ月に1度開催している。家族から出された意見については、ユニット会議で議題として挙げ実現を図っている。活動状況、行事の反省と共に外部評価、小規模多機能とグループホームとの違いなどの説明も行っている。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 市の職員は毎回運営推進会議に出席している。市が開催する認知症の勉強会や講習には極力参加を試みている。以前看取りの意思確認書について問題がないか等、疑問について市に確認に出かけたことがある。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 年3回家族会が開催されるが、運営推進会議にも家族が出席するため意見を聞くことができる。家族からの意見は出席したユニットリーダーから職員に伝えられ実現化している。ホーム便りは毎月家族に届けられ、個々の入居者について担当者からコメントが書き込まれている。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価						

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。